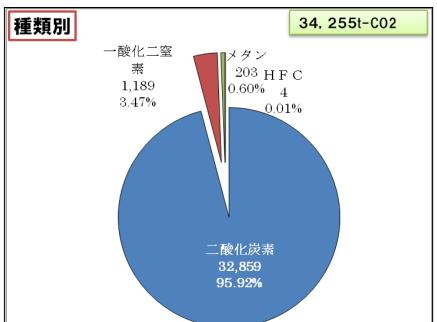
# (2)市役所の事務事業から排出される温室効果ガス

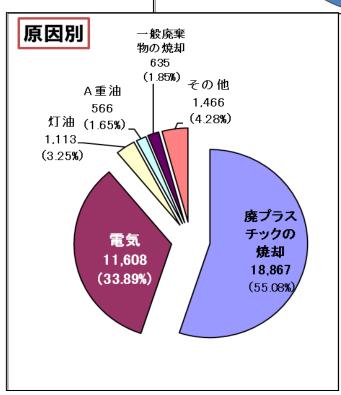
## 1)温室効果ガスの排出状況

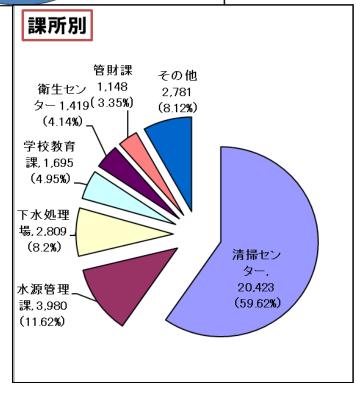
温室効果ガス(二酸化炭素など)は、一般廃棄物の焼却、電気の使用、燃料(灯油・ガソリンなど)の使用などによって排出されます。

平成20年度の温室効果ガス総排出量は、約34, 255t-CO2 であり、基準年度である平成15年度(約30, 050t-CO2)と比較すると14%増となり、5%以上削減とする目標を達成できませんでした。

排出量が増加した原因は、平成21年度10月からごみの分別方法を見直すことに伴い、試験的に廃プラスチックを焼却する量が増加したためです。







### (1)温室効果ガスの排出量

#### ※H14改正前係数

※廃プラ組成率11.4%+増加処理量(湿重ベース、雑ごみ含まず)

※し尿処理、端出揚温泉保養センター、東平記念館含まず

U-BAIDWAN							*** C \$100 C II (	A HIRL CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF THE PROPE
		烧	黒料の燃炸	尭	電気の使用量	一般廃棄物の焼却	二酸化炭素	
項目	ガソリン	灯油	軽油	A重油	液化石油ガス	(一般電気事業者)	(廃プラスチック量)	排出量
	(ℓ)	(ℓ)	(ℓ)	(ℓ)	(kg)	(kwh)	(t)	(kg-CO <sub>2</sub> )
(発熱量×)排出係数	2. 32	2. 49	2. 62	2.71	3.00	0.378	2,680	
使用量等	84, 773	446, 865	88, 907	208, 947	91, 709	30, 708, 001	7,040	32, 858, 500. 66

\_(参考) 平成15年度

①二酸化炭素

機速速	14 54%	-23 01%	0.21%	-21 56%	-16 85%	-0 25K	33 81%	14 744
使用量等	74, 013	580, 410	88, 717	266, 377	110, 288	30, 783, 590	5, 261	28, 637, 792. 29

②メタン

	自動車の走行距離 (km)										船舶の	)航行	し尿の処理	下水の処理	一般廃棄物の焼却	メタン		
項 目 ガソリン車									軽油車			軽油	A重油			連続燃焼式	排出量	
	普通・小型乗用車	バス	軽乗用車	普通貨物車	小型貨物車	軽貨物車	特種用途車	普通・小型乗用車	バス	普通貨物車	小型貨物車	特種用途車	(kℓ)	(kℓ)	(m <sup>3</sup> )	$(m^3)$	(t)	(kg-CH <sub>4</sub> )
排出係数	0.000011	0.000035	0.000011	0.000035	0.000035	0.000011	0.000035	0.000002	0.000017	0.000015	0.000008	0.000013	0. 26	0.26	0.049	0.00088	0.000079	
走行距離等	148, 849	0	90, 336	18, 055	95, 640	326, 509	77, 880	22, 489	83, 198	11, 135	10, 195	49, 929	41	87	0	10, 951, 429	41, 548	9, 689. 07
(参考) 平成15年	F度											934, 216					_	
走行距離等	72, 215	0	56, 158	0	62, 787	340, 610	71, 667	12, 141	0	14, 002	10, 120	66, 641	30	119	0	10, 168, 223	46, 152	9, 001. 47
増減率	<b>E</b> 106.12%	#DIV/0!	60. 86%	#DIV/0!	52. 32%	-4. 14%	8. 67%	85. 23%	#DIV/0!	-20. 48%	0. 74%	-25. 08%	35. 02%	-26. 58%	#DIV/0!	7. 70%	-9. 98%	7. 64%

③一酸化二窒素

W IN IL I E T																			
						自動車の走行	f距離 (km)						船舶の	航行	下水の処理	一般廃棄物の焼却	ディーセ	ゼル機関	一酸化二窒素
項目	ガソリン車								軽 油 車					A重油		連続燃焼式	軽油	A重油	排出量
	普通・小型乗用車	バス	軽乗用車	普通貨物車	小型貨物車	軽貨物車	特種用途車	普通・小型乗用車	バス	普通貨物車	小型貨物車	特種用途車	(kℓ)	(kℓ)	(m <sup>3</sup> )	(t)	(1)	(ℓ)	$(kg-N_20)$
(発熱量×)排出係数	0.00003	0.000044	0.000022	0.000039	0.000027	0.000023	0.000038	0.000007	0.000025	0.000025	0.000025	0.000025	0.073	0.074	0.00016	0.0493	0.00006112	0.00006256	
走行距離等	148, 849	0	90, 336	18, 055	95, 640	326, 509	77, 880	22, 489	83, 198	11, 135	10, 195	49, 929	41	87	10, 951, 429	41, 548	594	23, 799	3, 835. 73
(参考) 平成15年	.度					,							•				,	_	
走行距離等	72, 215	0	56, 158	0	62, 787	340, 610	71, 667	12, 141	0	14, 002	10, 120	66, 641	44	105	10, 168, 223	46, 152	160	36, 477	3, 935. 84

-20. 48%

-25. 08%

-7. 94% -16. **79%** 

7. 70%

-9. 98%

271. 25%

85. 23% #DIV/0!

**④**ハイドロフルオロカーボン

自動車の台数(台)	排出係数	ハイドロフルオロカーボン 排出量 (kg-HFC)
215	0.015	3. 23
(参考) 平成15年度		
204	0.015	3.06

106.12% #DIV/0!

増減率 5.39%

60.86% #DIV/0!

(合計) 温室効果ガス総排出量

	二酸化炭素排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	メタン排出量 (kg-CH <sub>4</sub> )	一酸化二窒素排出量 (kg-N <sub>2</sub> 0)	ハイト゛ロフルオロカーホ゛ン排出量 (kg-HFC)	
排出量	32, 858, 500. 66	9, 689. 07	3, 835. 73	3. 23	温室効果ガス総排出量
地球温暖化係数	1	21	310	1, 300	(kg-CO <sub>2</sub> )
温室効果ガス排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	32, 858, 500. 66	203, 470. 54	1, 189, 075. 67	4, 192. 50	34, 255, 239. 37
構成比	95. 92%	0. 59%	3. 47%	0. 02%	100%
(参考) 平成15年	度				
温室効果ガス排出量 (kg-CO <sub>2</sub> )	28, 637, 792. 29	189, 030. 84	1, 220, 111. 33	3, 978. 00	30, 050, 912. 46
構成比	95. 31%	0. 63%	4.06%	0. 01%	100%

-4.14%

8. 67%

### 平成20年度 活動量調査結果 総括表

※項目の

は、前年度から増加している項目です。

	項目	目標	基準年度 (平成15年度)	目標年度 (平成20年度)	平成20年度実績	平成19年度実績	対基準年 度増減率	達成	主な増減理由
温室	三効果ガス総排出量	5%以上削減	30,050 t-CO <sub>2</sub>	28,547 t-CO <sub>2</sub>	<b>34,255</b> t -CO <sub>2</sub>	28,266 t-CO <sub>2</sub>	14. 0%	×	○二酸化炭素、メタン、ハイドロフルオロカーボン の増 △一酸化二窒素の減
1	電気使用量	5%以上削減	30, 783, 590 kwh	29, 244, 410 kwh	<b>30, 708, 001</b> kwh	31, 224, 561 kwh	-0. 2%	×	<ul><li>○水源管理課、保育園で増</li><li>△管財課、清掃センター、下水処理場で減</li></ul>
2	灯 油 使 用 量	5%以上削減	580, 410 ℓ	551, 389 ℓ	<b>44</b> 6, 865 ℓ	491,806 ℓ	-23. 0%	0	○学校教育で増 △斎場、衛生センター、清掃センター で減
3	A 重 油 使 用 量	5%以上削減	266, 377 ℓ	253, 058 ℓ	208, 947 ℓ	238, 821 ℓ	-21.6%	0	<ul><li>○慈光園、下水道建設課で増</li><li>△下水処理場、運輸観光課で減</li></ul>
4	液化石油ガス使用量	5%以上削減	110, 288 kg	104, 773 kg	<b>91, 709</b> kg	101,741 kg	-16. 8%	0	<ul><li>○社会教育課で増</li><li>△管財課、学校教育課、高津共同調理場で減</li></ul>
5	ガソリン使用量	10%以上削減	74, 013 $\ell$	66, 611 <i>l</i>	8 <b>4,</b> 773 ℓ	93, 243 ℓ	14. 5%	×	○管財課、総務警防課で増 △清掃センター、水道工務課で減
6	軽 油 使 用 量	10%以上削減	88,717 <i>l</i>	79, 845 ℓ	88 <b>,</b> 907 (	98, 066   ℓ	0. 2%	×	<ul><li>○管財課、清掃センター、総務警防課で増</li><li>△最終処分場、運輸観光課で減</li></ul>
7	公用車の走行距離	10%以上削減	706,341 km	635, 706 km	<b>934, 216</b> km	941,625 km	32. 3%	×	○管財課、総務警防課で増
水道	使用量	5%以上削減	527,660 m <sup>3</sup>	501, 277 m <sup>3</sup>	<b>421, 804</b> m <sup>3</sup>	459, 875 m <sup>3</sup>	-20. 1%	0	○衛生センター、広瀬歴史記念館、衛 生センター、港務局で増 △他の大半の課所は減
	一用紙購入量 4 換算)	10%以上削減	13, 628, 800 枚	12, 265, 920 枚	16, 014, 848 枚	15, 165, 040 枚	17. 5%	×	-
	購入量 常事務用)	5%以上削減	362,400 枚	344, 280 枚	191, 100 枚	247,800 枚	-47. 3%	0	-

上記は、「エコアクションプランにいはま(新居浜市地球温暖化対策率先行動計画)」に掲げる目標及び実績値の対比です。中間目標年度である平成20年度は、廃プラス チック焼却量増加に伴い、平成15年度と比べ温室効果ガス総排出量は、約14%の増となっています。